

各 位

平成 20 年 2 月 18 日

日 本 製 紙 連 合 会  
広 報 部  
(TEL 03-3248-4801)

### 第 3 回 古紙配合率問題検討委員会の概要について

2 月 15 日（金）午前 8 時 30 分より、第 3 回 古紙配合率問題検討委員会を開催致しましたので、概要を以下のとおりご報告いたします。

1. 2 月 12 日（火）に開催した、第 1 回 古紙と環境検証委員会の概要について事務局から説明した。

2. 古紙配合率の担保方法について

日本製紙連合会技術環境部会技術委員会技術小委員会における古紙配合率の担保方法の検討経過について事務局から説明した。2 月 18 日（月）に開催する技術小委員会でチェックリスト等を再度検討し、当委員会の意見も反映しつつ、2 月 21 日（木）の古紙と環境検証委員会に報告し、議論を行うこととなった。

3. 再生紙の定義と表示について

本問題は、可及的速やかに対処することを念頭に、2 月 1 日（金）開催の検討委員会での各社の意見を基に、再度アンケートを実施し論点を整理した。

(1)消費者に対して分かりやすいかどうか、(2)全体として古紙利用が高められるかどうか等の視点に立つことを基本として議論を行った。議論の結果、現在、配合率の実数を表示している場合と単に再生紙と表示されている場合がある実態を踏まえ、①従来通り古紙パルプ配合率の実数表示をする場合はそのまま、②再生紙の用語を使う場

合の表示については、全体的な古紙の利用促進を促すため、古紙パ  
ルプ配合率を4段階(1%以上～10%未満、10%以上～40%未満、40%  
以上～70%未満、70%以上)に分けてのマーク表示、を各社は製品  
毎に選択する案となった。上記の検討結果は、古紙と環境検証委員  
会に報告し、表示するマークも含めて、議論を行うこととなった。

4. 次回は2月25日(月)に開催することとなった。

(以 上)